

【火山砂防事業】

うさ かみもとしげ いろは しももとしげ
 大分県宇佐市大字上元重 伊呂波川水系 下元重川

○事業目的

本溪流は、大分県北部の宇佐市に位置し、保全対象に人家及び要援護者施設が2棟、県道を含む土石流危険溪流である。

本溪流内には、溪岸浸食による土砂堆積・倒木等が見られ近年の集中豪雨により度々小規模な土砂流出が発生し直下流の人家が被害を受けており、今後も土石流災害発生危険性が懸念され、地元要望も強いことから早急に対策を講じ人家等の保全を図る必要がある。

○箇所概要

保全対象 : 人家15戸、要援護者施設 きずな、おとなりさん、県道山袋久々姥線L=210m
 実施内容 : 砂防えん堤工1基
 全体事業費 : 200百万円 (H31~H35)
 土砂災害警戒区域等の指定状況:H27.10指定済

航空写真



位置図



①上流域荒廃状況

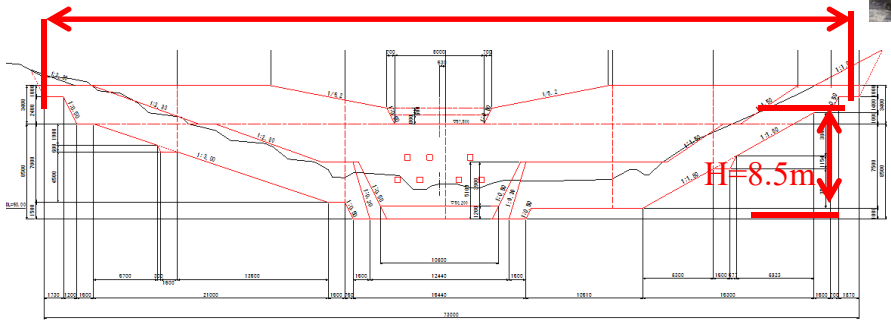


流域概要図



L=73.0m

②要援護者施設 障がい者就労施設『きずな』



H=8.5m



③一般県道山袋久々姥線